



大河小だより

小川町立大河小学校
令和7年10月27日 第19号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）

【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」

【10月の生活目標】 「友だちを たいせつにしよう」

一人一人が全力を出し切った運動会

天候にも恵まれ、令和7年度の運動会を開催することができました。夏休みが明けても猛暑が続き、熱中症対策をとりながら工夫して練習を行いました。当日は天候にも恵まれ、子供たちは練習以上の力を発揮して『泣いても笑っても一発勝負 ～忘れられない運動会～』のスローガンのとおり、素晴らしい運動会となりました。どの学年も素晴らしい演技できたが、特に5・6年生の組体操は、かわった先生方の思いを流れていた曲からも強く感じ、その歌詞と今まで練習してきた5・6年生の努力してきた過程を振り返ると涙が浮かんできました。

保護者の皆様、PTA・地域の方々のご理解ご協力で、平成7年度運動会が実施できましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



青組の応援合戦の様子



赤組の応援合戦の様子



1・2年生の演技



3・4年生の演技



5・6年生の競技



全校大玉送り(赤組)



5・6年生の組体操



全校大玉送り(青組)

盲導犬や視覚障害について学習しました 4年生

10月21日（火）の3・4校時に小川町社会福祉協議会のご協力のもと、盲導犬ユーザーの方をお迎えして盲導犬や視覚障害についてお話いただきました。

視覚障害とはどういうことなのか、また日常生活、盲導犬との生活をどのように送っているのかをユーザーの方から伺いました。また、盲導犬の一生や訓練、仕事内容などを協会の方からお話いただきました。

また、ハンカチで见えない状況をつくりプリントを後ろの友達に渡したり、自分の名前を書いたりして、目の不自由な方の生活を体験しました。そして、仕事中の盲導犬に声をかけてはいけないこと、ユーザーへの声のかけ方など、今後の生活に生かしていくことを学びました。

初めは、連れてきていただいた盲導犬に気持ちが行きがちで、「かわいい！」と口々に言っていた子供たちでした。しかし、この学習を通して盲導犬や視覚障害に対する理解が深まったことで、協会の方やユーザーの方に進んで質問したり、仕事をする盲導犬に対して温かく見守るようになったりと、学びのたくさんあった2時間でした。



「スポーツの秋」の次は、読書・勉強の秋です

1学期に6年生が行った全国学力・学習状況調査と5月に4年生から6年生が行った埼玉県学力・学習状況調査の結果から、本校では国語については「読むこと」「書くこと」に課題があり、算数では、基礎的・基本的な学習内容の定着に課題があると考えております。

問題の傾向を分析すると、これからは、漢字が書けることや、計算ができることだけでなく、知識の活用力である「思考力・判断力・表現力」が重要視されます。国語の問題では、文章から資料を選びグラフなどを読み取って解答する問題や、算数では問題の文章が多く、普段から文字に慣れていない子にとっては、とてもつらく問題文を読み取れないと点を取る事が難しいと感じました。

例えば、算数の問題で「多い」という言葉があるから必ず「たし算」、「少ない」という言葉があるから「ひき算」というわけでもありません。じっくり考えるとともに、問題の場面をイメージして図に表したり、日頃からなぜそうなるのか自分の言葉で説明したりする力を培うことが大切となります。

子供たちの学習に対するさらなる向上心と基礎的・基本的な学習内容の定着のために、教職員一同、子供たちの実態を把握して、日々研修・研究に努めてまいります。今後、学校だより等で全国学力・学習状況調査と埼玉県学力・学習状況調査で具体的に保護者の皆様へお示しできる数値等について、お伝えしていきます。

これからも、子供たち一人一人に寄り添い、チーム大河小で学習支援をしていくとともに、授業改善を図りながら多くの子供たちが学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

